

「ゆっくるも」における居場所づくりと支援体制の構築

《 概要 》

留萌市の不登校児童生徒数は年々増加傾向にあり、令和4年度においては、小学校13名、中学校23名となっている。

不登校又は不登校傾向にある子どもたちの教育機会を確保し、社会的自立や学校への復帰に繋げることを目的に、令和5年6月に留萌市教育支援センター「ゆっくるも」を開設した。

「ゆっくるも」を拠点として、学校や関係機関との連携を強化するとともに、指導員による学習指導、生活指導を行い、学習・生活習慣の改善を図っている。

《 相談・支援等の実際 》

目標・方向性

学校・保護者との
情報共有及び連携

関係機関との連携

学校復帰に向けた
支援・指導

相談・支援、取組等の状況

- ・センター開設や通級手続き等について、各学校及び保護者への個別周知や、HP及びメディアを活用して市内へ広く周知した。
- ・毎月の通級状況の報告や「ゆっくるも通信」の定期発行により、児童生徒の様子を各学校及び保護者へ情報発信した。
- ・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと連携し、家庭訪問への同行や学校へ訪問したほか、個別のケース会議へ出席するなど、関係機関との情報共有及び連携を図った。
- ・令和5年6月の開設以降、15名の児童生徒が通級している。インターネット環境の整備により学習コンテンツを活用した学習指導を行ったほか、校外授業として体験学習の実施や、別室登校の支援等を行った。

《 取組の成果 》

教育支援センターの開設により、引きこもり状態だった児童生徒が自分の意思で外に出ることができるようになり、他者と関わりをもつ機会を増やすことができたほか、保護者の負担軽減にもつなげることができた。

児童生徒一人一人の状況に応じた指導により、学校復帰への第一歩とすることができた。

体験学習には多くの児童生徒が参加し、積極的にコミュニケーションを図る姿が見られるなど、児童生徒の居場所づくりの契機とすることができた。